



2026 年 2 月 12 日

各位

会 社 名 ア ス テ ラ ス 製 薬 株 式 会 社  
代 表 者 代表取締役社長 CEO 岡 村 直 樹  
(コード:4503、東証プライム)  
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)  
決 算 期 3 月  
問 い 合 わ せ 先 チーフコミュニケーションズ&IR オフィサー  
加藤 信子  
(Tel:03-3244-3201)

## Myrbetriq®特許侵害訴訟で Lupin および Zydus と和解

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、過活動膀胱治療剤 Myrbetriq®(一般名:ミラベグロン)の特許に関する米国特許侵害訴訟について、Lupin Limited および Lupin Pharmaceuticals, Inc. (以下、「Lupin」)、ならびに Zydus Lifesciences Limited および Zydus Pharmaceuticals (USA) Inc.(以下「Zydus」)それぞれとの間で和解契約を締結したのでお知らせします。

### 1. 経緯および和解の内容

Lupin および Zydus それぞれとの和解契約に基づき、アステラス製薬は訴訟解決のため、両社合計で 6,000 万米ドルを受領します。さらに、両社から総額 1 億 5,000 万米ドルの一時金ライセンス料を受領するとともに、両社が米国内で販売する対象製品 1 単位当たりのライセンス料を受領します。

このたびの和解により、両社との間で Myrbetriq®に関する全ての訴訟は終結します。なお、和解契約の詳細については開示していません。

### 2. 和解の相手方の概要

#### ● Lupin:

(1)	名称	Lupin Limited および Lupin Pharmaceuticals, Inc.
(2)	所在地	-3rd Floor, Kalpataru Inspire, Off Western Express Highway, Santacruz (East), Mumbai 400 055, Maharashtra, India -111 South Calvert Street, 21st Floor Baltimore, Maryland 21202, United States

(3)	代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer, Vinita Gupta
-----	-----------	---------------------------------------

● **Zydus:**

(1)	名称	Zydus Lifesciences Limited および Zydus Pharmaceuticals (USA) Inc.
(2)	所在地	-Zydus Corporate Park, Scheme No. 63, Survey No. 536, Khoraj (Gandhinagar), Near Vaishnodevi Circle, Sarkhej–Gandhinagar Highway, Ahmedabad – 382481, Gujarat, India -73 Route 31 North, Pennington, New Jersey 08534, United States
(3)	代表者の役職・氏名	Chairman, Pankaj R. Patel

本件によるアステラス製薬の通期(2026 年 3 月期)連結業績への影響は精査中です。

以上

**アステラス製薬株式会社について**

アステラス製薬は、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えることを目指すグローバルライフサイエンス企業です。私たちは、がんや、眼科・泌尿器疾患、免疫、ウイメンズヘルスなどの多様な領域において、革新的な治療法を提供しています。研究開発プログラムを通じて、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓しています。

アステラス製薬の詳細については、[www.astellas.com](http://www.astellas.com) をご覧ください。

**注意事項**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。